第22回議会報告会　報告書

地 域 名	大屋地域		
年 月 日	令和４年４月26日（火）	会 場 名	大屋市民センター
開始時間	19時30分	終了時間	20時55分
参 加 数	男性　11人	女性　０人	合計　11人
班　　長	田路之雄	司 会 者	田路之雄
報 告 者	田村和也	書　　記	西田雄一
班 員 名	田路之雄、竹浦昭男、田村和也、西田雄一		

	市　　民	対　　応
報告に対する質疑	① 養父市附属機関の設置等の条例の一部改正の修正案に議員12名が反対しているが、反対の成り行きはどうか。	① 「教育のあり方検討委員会」は、市長の附属機関ではなく、教育委員会の附属機関とすべきとの修正案が提出されたが、12名の議員が反対した。
	② 議会だよりで、令和４年度の当初予算の内訳の一般会計、特別・企業会計の対前年比の記載はあるが、主な事業の歳入、歳出の内容の記載で対前年比がない。どの事業に力を入れているか分かりづらい。	② この件について、対前年比を記述した方が分かりやすいと思うので持ち帰って検討する。
	③ 「メタバース」とはどのようなものか。	③ 「メタバース」とは、インターネット上の３次元の仮想空間やサービスのことであり、養父市ではこれを活用し、つながり人口を増やしたいと考えている。次回からの「議会だより」には、分かりにくい言葉の説明書きをするよう検討したい。
	④ 大屋支援生活ハウス条例の廃止について説明してほしい。	④ 施設が老朽化し、昨年度の入居者は１名だった。今回管理条例から外した。市内には３箇所の施設ができている。この件については、地元区長には説明している。
	⑤ 空き家の活用について、地域と連携する事業が作られたとの記述があるが、連携する事業とはどういうものか。	⑤ 地域おこし協力隊と連携し、空き家など有効活用による都市と地域を結ぶ拠点づくりを進め、地方への新しい人の流れをつくる事業である。地域おこし協力隊を配置し、自治協（建屋、三谷）と協働で事業を行う。

市　　民		対　　応
意見交換会での質疑	①　大杉市営住宅は、入居者が減っている。今後募集しないとのことであるが、耐震化も含めて今後の市営住宅について問う。	①　後日回答する。
	②　都市部に出た人と農地賃貸借契約書を交わして、荒地にならないために耕作しているが、ここ最近、農業委員会から、農地の利用権設定についての文書が届いた。どうすればいいか。	②　後日回答する。
その他（提言など）	①　大屋市場にある上垣団地の管理も放棄されている。市にも要請しているが回答がない。また、大屋市場の道路は、路線バスの道路で、通学路でもあるが凸凹が多く、つぎはぎの舗装で、数年前から工事の要望をしているができない。区内の生活道路でもあるので直してほしい。	①　意見としてお聞きする。
	②　ロシアの侵攻により難民となったウクライナの人々はかわいそうである。養父市はこれらの人々を受け入れたらどうか。人口減少の解消にもなるのではないか。	②　意見としてお聞きする。
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和４年５月 20 日

報告者　１班　班長　田路　之雄